

報告日 令和6年7月5日
報告回数 2日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	鎌倉市教育委員会			代表者名	渋谷 亮太
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	教育指導課	連絡先電話番号	0467-61-3812
担当者役職	指導主事	担当者氏名	永井 洋斗基	連絡先E-mail	
住所	248-0012 神奈川県鎌倉市御成町18-10第4分庁舎				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail			

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ICT教育推進支援事業
概要	学校教育におけるICT活用による探究的な学びをより確実に推進するための、具体的な授業をもとにした指導・助言をいただきたい		
支援を求める分野	教育情報化／情報教育		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年9月26日	支援・助言&講演(実地)	8時30分	16時45分	
				活動時間(分)	495
2-2.	会場名	鎌倉市立深沢中学校	最寄駅	湘南深沢	
派遣場所	所在地	鎌倉市梶原1-14-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	平井 聡一郎
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	実態に応じた課題に対して、的確なアドバイスと今後の方向性を示唆いただけたとともに、講演では教職員に対し、問題解決型の課題をだし、実際に体験することで理解が深まったこと。また、授業の様子を見ていただくと共に、研究協議の場でも一つ一つの授業の目標の設定の仕方について具体的な改善策とアドバイスを頂けたこと。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、学校の実態に応じたご指導をいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	32人	
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	32		
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果				
事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	今後の授業改善について、具体的な課題を示していただけただけことから、焦点を絞った授業研究へ改善していくことができると思われる。また、10月の研究発表会に向けて、研究の方向性を再確認することができた。			
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	ICTの活用により、より個別最適な学び、協働的な学びを深化させる各授業における問題解決型の目標設定			

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	5クラスの授業見学。その後の研究協議での指導助言。最後に、全教職員へ講義。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	問題解決型の授業目標設定であったのか？という視点での授業改善	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた 研究発表会に向けて、授業改善の具体的手立てや、方向性を明確にすることができた。協議会での視点や授業でどのように課題を提示するかの共通認識が教職員の中で確立された。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	授業改善方法は引き続き協議が必要	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実施後に参加した教職員へアンケートを実施 ・授業設計を通じて生徒の思考力を育むことが重要であり、授業の中心に生徒をおく必要性が感じられた。 ・生徒のワクワクを引き出す課題づくりが学びを深めるために重要である。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 10月に研究発表会があり、その際の指導助言を依頼している。また、参加者全員へ対して講義を依頼している。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	「自ら考え、共に探究する授業づくり」というテーマのもと、個別最適な学び、協働的な学びを推進し、生徒一人ひとりが自分の学びを確立することができる授業研究を推進すること。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

